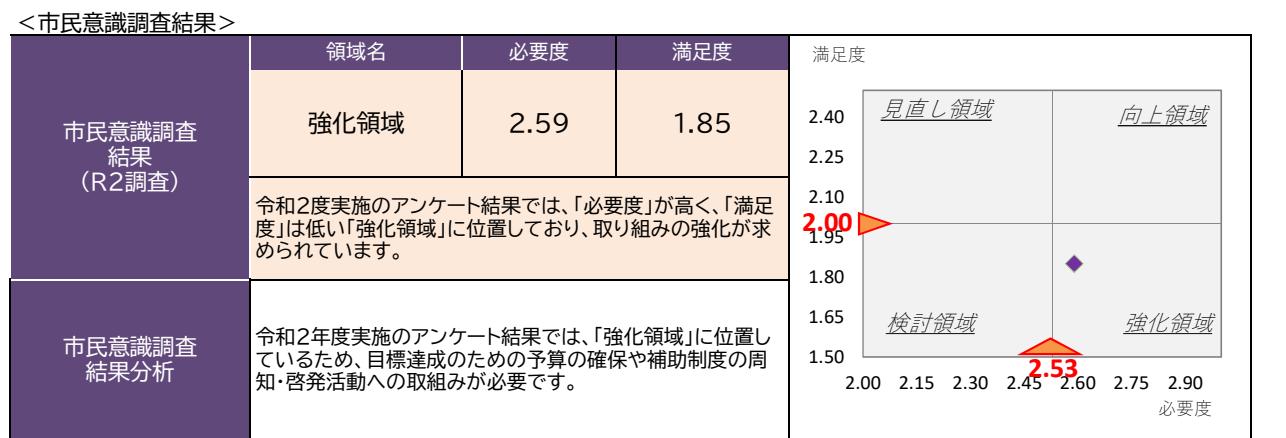


白杵市 施策評価シート (令和2年度)		評価 担当者	課名	氏名	内線				
			農林振興課	川野 徳明	200				
コード	IV-11-19	施策名	農林業の経営基盤強化と担い手育成						
施策の方針	おいしく安全な食材を創り活かす								
まちづくりの方針	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)								
5年後のめざす姿	「地域の農地は地域で守る」という意識を高め、継続的に就農者の確保や農地集積を図り、集落単位の農業の強化を図ります。農業後継者グループの育成や農業・農産物に関する啓発活動など、地域の実情に応じた生産性の向上や安定的な農業収入の確保をめざします。林業においては、健全で豊かな森への整備促進を図りながら効率的な施業につなげることで、森林所有者の所得向上と森林整備への意欲増進をめざします。								
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 集落営農の推進及び新規就農者支援します。 集落機能及び集落環境の保全を行います。(中山間地域直接支払交付金、多面的機能支払交付金) 荒廃した竹林を整備することにより、タケノコや竹材が生産できる「優良な竹林」にしていきます。 有害鳥獣被害対策として防護柵を設置し、農作物被害の軽減を図ります。 								
<指標>									
新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
新規就農者数【累計】	農林業技術取得のための研修等卒業生の新規就農人数		目標	人	44	54	64	74	84
			実績	人	34	45			
			達成率		102.3%				
有害鳥獣被害を軽減させるための防護柵設置距離【累計】	防護柵の設置距離		目標	距離(km)	400	420	440	460	480
			実績	距離(km)	379	393			
			達成率		98.3%				
竹林整備面積【累計】	竹林整備面積		目標	面積(ha)	18.0	20.0	22.0	24.0	26
			実績	面積(ha)	15.2	16.1			
			達成率		89.4%				
食農教育の推進(学習会)及び植付・収穫体験実施回数	学校や個人を対象とした学習会の実施回数		目標	回数	55	60	65	70	75
			実績	回数	43	33			
			達成率		60.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
			目標						
			実績						
			達成率						
指標の分析	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者は、ピーマン生産者を中心に増加傾向となっています。 有害鳥獣被害軽減のための防護柵の設置は、国からの補助金により地区からの要望に応えることが出来ています。 竹林整備については少しずつはあるが面積を増やしていますが、目標達成までには至っていません。 職能教育は、新型コロナウィルスの影響により実施回数を増やすことが出来ませんでした。 								



<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	新規就農者は増加傾向にあるが、中山間地域でも特に山間の水田や畑の維持保全に対する方針を打ち出す必要があります。また、優良農用地においては、高収益作物の作付けなど複合的な作付け経営を推進し、経営の安定化を図る必要があります。
令和3年度以降の課題	有害鳥獣対策として、今後も引き続き防護柵の設置を行うとともに、捕獲により個体数自体の減少を図り、農作物被害の軽減させる必要があります。

<施策を構成する主な事務事業一覧表>									
事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の 重点 ※運営計 画記載	事業費(単位:千円)			課長 評価	公共 5 ヵ 年	他の 関連施策 コード
				R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 見込み			
1 活力あふれる園芸産地整備事業	園芸品目の機械・施設整備に係る補助	農林振興課	○	42,145	55,924	63,181	継続	○	
2 大分の茶産地強化対策事業	茶産地育成のための植栽・機械整備に係る補助	農林振興課		6,838	5,834	11,001	継続	○	
3 中山間地域等直接支払交付金	中山間地域における農業生産の維持、多面的機能の保全に係る交付金	農林振興課		15,662	15,597	15,780	継続	○	
4 水田農業構造改革事業	経営所得安定対策等事業の推進補助	農林振興課		7,035	4,883	7,784	継続	○	
5 多面的機能支払交付金	協定結集落の共同作業による農地、農業用施設の維持管理、環境保全型農業に取り組む市内農業者への直接支援	農林振興課	○	33,163	33,677	35,761	継続	○	
6 農業後継者就農促進事業	「アグリ起業学校」(ピーマン学校)やファーマーズスクールにより、新規就農者を県・JA・ピーマン部会・市等が連携し、支援を行い、農業就農者の増加に取り組む。	農林振興課		6,686	5,857	24,560	継続	○	
7 青年就農給付金事業	50歳以下の新規就農者に対する給付金	農林振興課	○	56,337	62,619	73,498	継続		
8 有害鳥獣対策事業	イノシシ、シカ、サル、小動物の侵入を防止する柵設置に対する補助	農林振興課	○	21,431	17,751	39,824	継続	○	
9 竹林・里山再生事業	間伐による優良竹林化や作業道開設に対する補助金	農林振興課	○	1,403	1,136	1,770	継続	○	
10									
		合計		190,700	203,278	273,159			

<施策の今後の展開～担当課長評価>

進捗状況	課長評価
順調	補助制度を活用した集落営農の推進を図り、地域内の農地の維持保全活動の活性化を推進します。有害鳥獣対策については、防護柵の設置と併せて、イノシシヤンカの捕獲も積極的に進めています。また、竹林整備についても、市報以外の周知・啓発活動を行う必要があります。 目標を達するため、現状維持とする
<施策の今後の展開～内部評価(内部検討会)>	
内部評価	目標を達するため、現状維持とする
目標未達であるが、実現に向けては現時点では課題があり、現状維持の取り組みを行う施策であるため。	
<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>	
評価のコメント	外部評価
農林業の経営基盤の弱さは、補助金に頼ってきたこれまでの施策の結果で、日本全体の問題。規模を拡大するか、販売単価を上げるかどちらか実現させなければ解決はできないと考えています。 現状のままだと産業自体の衰退が懸念され、強化して取り組む必要があると感じています。 担い手確保のため、フリーターの活用(様々な事情で職についている若者を雇用する)など、これまでとは違った対応策を検討できないか。	維持

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

農業の経営基盤強化のため、面積要件をつけ集落単位で取り組むよう大規模化を支援したり、機械での作業を専業農家に集約するなどを取り組んでいます。
--